

NEC iStorageシリーズ iStorage NS480

7

故障かな？と思ったときは

装置の運用および保守について説明します。

「日常の保守」(200ページ)

日常使う上で確認しなければならない点やファイルの管理、クリーニングの方法について説明します。

「障害時の対処」(205ページ)

故障かな？と思ったときに参照してください。トラブルの原因の確認方法やその対処方法について説明しています。

「ソフトウェアの再インストール」(239ページ)

システムの障害により、再インストールが必要となった場合にお読みください。

「移動と保管」(246ページ)

本体を移動・保管する際の手順や注意事項について説明します。

「ユーザーサポート」(248ページ)

本製品に関するさまざまなサービスについて説明します。サービスはNEC、およびNECが認定した保守サービス会社から提供されるものです。ぜひご利用ください。

日常の保守

装置を常にベストな状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に行ってください。万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス会社に保守を依頼してください。

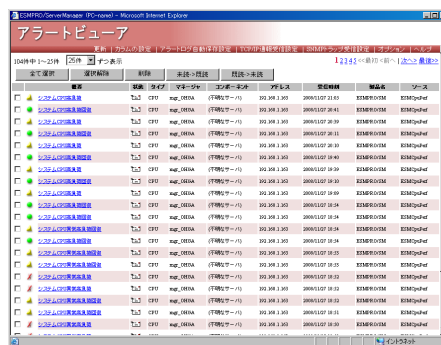
アラートの確認

システムの運用中は、ESMPROで障害状況を監視してください。
管理PC上のESMPRO/ServerManagerにアラートが通報されていないか、常に注意するよう心がけてください。ESMPRO/ServerManagerの「アラートビューア」でアラートが通報されていないかチェックしてください。

<ESMPROでチェックする画面>



ESMPRO/ServerManager



アラートビューア

ステータスランプの確認

本体の電源をONにした後、およびシャットダウンをして本体の電源をOFFにする前に、本体前面にあるランプの表示を確認してください。ランプの機能と表示の内容については「ハードウェア編」の「「ランプ表示」(15ページ)」をご覧ください。万一、本体の異常を示す表示が確認された場合は、保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。

バックアップ







定期的に装置のハードディスクドライブ内の大切なデータをバックアップすることをお勧めします。最適なバックアップ用ストレージデバイスやバックアップツールについてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ハードウェアの構成を変更したり、BIOSの設定を変更した後は、オフライン保守ユーティリティの「システム情報の管理」機能を使ってシステム情報のバックアップをとってください（を参照）。

RAIDシステムを構築しているシステムでは、RAIDシステムのコンフィグレーション情報のバックアップをとっておいてください。また、ハードディスクドライブの故障によるリビルドを行った後もコンフィグレーション情報のバックアップをとっておくことをお勧めします。コンフィグレーション情報のバックアップについては、ボードに添付の説明書を参照してください。

クリーニング

装置を良い状態に保つために定期的にクリーニングしてください。

 警告	
    	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分で分解・修理・改造はしない ● 電源プラグを差し込んだまま取り扱わない

本体のクリーニング

装置の外観の汚れは、柔らかい乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、次のような方法できれいになります。



- シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。
- コンセント、ケーブル、本体背面のコネクタ、本体内部は絶対に水などでぬらさないでください。

1. 本体の電源がOFF（POWER/SLEEPランプ消灯）になっていることを確認する。
2. 本体の電源コードをコンセントから抜く。
3. 電源コードの電源プラグ部分についているほこりを乾いた布でふき取る。

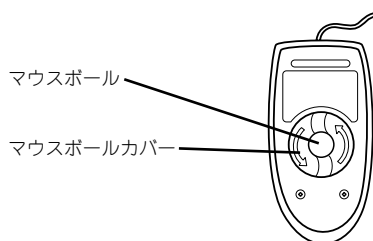
4. 中性洗剤をぬるま湯または水で薄めて柔らかい布を浸し、よく絞る。
5. 汚れた部分を手順4の布で少し強めにこすって汚れを取る。
6. 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度ふく。
7. 乾いた布でふく。

キーボード/マウスのクリーニング

キーボードは本体および周辺機器を含むシステム全体の電源がOFF（POWERランプ消灯）になっていることを確認した後、キーボードの表面を乾いた布で拭いてください。

マウスが正常に機能するためには、内部のマウスボールがスムーズに回転できる状態でなければなりません。マウスボールの汚れを防ぐためにほこりの少ない場所で使用して、定期的に次の手順でクリーニングしてください。

1. 本体の電源がOFF（POWERランプ消灯）になっていることを確認する。
2. マウスを裏返してマウスボールカバーを反時計回りに回して中からマウスボールを取り出す。

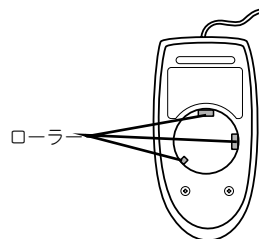


3. マウスボールを乾いた柔らかい布などでふいて、汚れを取り除く。

汚れがひどいときはぬるま湯、または水で薄めた中性洗剤を少量含ませてふいてください。

4. マウス内部にある3つの小さなローラを綿棒などでふく。

汚れがひどいときはアルコールなどを少量含ませてふいてください。



5. マウスボールをマウスの中に戻す。

手順3、4でマウスボールやローラをぬらした場合は、十分に乾燥させてからボールを入れてください。

6. マウスボールカバーを元に戻して、時計回りに回してロックする。

ディスクのクリーニング

DVD/CD-ROMなどの光ディスクにほこりがついていたり、トレイにほこりがたまっていたりするとデータを正しく読み取れません。次の手順に従って定期的にトレイ、ディスクのクリーニングを行います。

1. 本体の電源がON（POWERランプ点灯）になっていることを確認する。
2. 光ディスクドライブ前面のトレイジェクトボタンを押す。
トレイが光ディスクドライブから出てきます。
3. ディスクを軽く持ちながらトレイから取り出す。



ディスクの信号面に手が触れないよう注意してください。

4. トレー上のほこりを乾いた柔らかい布でふき取る。

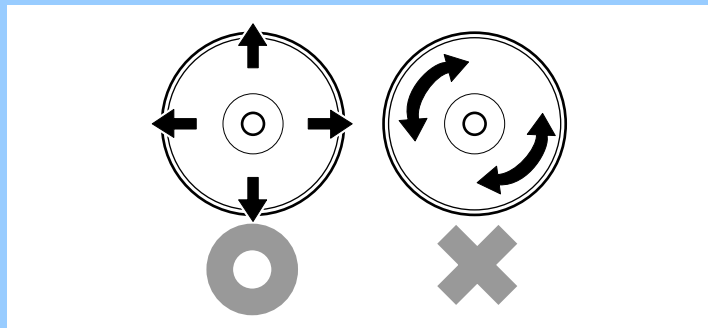


光ディスクドライブのレンズをクリーニングしないでください。レンズが傷ついて誤動作の原因となります。

5. トレーを軽く押して、トレイを光ディスクドライブに戻す。
6. ディスクの信号面を乾いた柔らかい布でふく。



ディスクは、中心から外側に向けてふいてください。クリーナをお使いになるときは、専用のクリーナであることを確かめください。レコード用のスプレー、クリーナ、ベンジン、シンナーを使用すると、ディスクの内容が読めなくなったり、装置にそのディスクをセットした結果、故障したりするおそれがあります。



テープドライブのクリーニング

テープドライブのヘッドの汚れはファイルのバックアップの失敗やテープカートリッジの損傷の原因となります。定期的に専用のクリーニングテープを使ってクリーニングしてください。クリーニングの時期やクリーニングの方法、および使用するテープカートリッジの使用期間や寿命についてはテープドライブに添付の説明書を参照してください。

システム診断

システム診断は装置に対して各種テストを行います。

「EXPRESSBUILDER」の「Tool menu」から「Test and diagnostics」を選択して診断してください。詳細は3章のシステム診断を参照してください。

障害時の対処

「故障かな?」と思ったときは、ここで説明する内容について確認してください。該当することがある場合は、説明に従って正しく対処してください。

障害箇所の切り分け

万一、障害が発生した場合は、ESMPRO/ServerManagerを使って障害の発生箇所を確認し、障害がハードウェアによるものかソフトウェアによるものかを判断します。障害発生箇所や内容の確認ができれば、故障した部品の交換やシステム復旧などの処置を行います。

障害がハードウェア要因によるものかソフトウェア要因によるものかを判断するには、ESMPRO/ServerManagerが便利です。



サーバ/ワークステーションの障害発生箇所、および障害内容を確認

エラーメッセージ

本体になんらかの異常が起きるとさまざまな形でエラーを通知します。ここでは、エラーメッセージの種類について説明します。

POST中のエラーメッセージ

本体の電源をONにすると自動的に実行される自己診断機能「POST」中に何らかの異常を検出すると、ディスプレイ装置の画面にエラーメッセージを表示します。また、エラーの内容によってはピープ音でエラーが起きたことを通知します。

メモリの故障を示すメッセージ（例ではメモリ#1が故障した場合の表示）

```
Phoenix BIOS 4.0 Release 6.0.XXXX
:
CPU=Xeon Processor XXX MHz
0640K System RAM Passed
0127M Extended RAM Passed
WARNING
0B60: DIMM group #1 has been disabled.
:
Press <F1> to resume, <F2> to setup
```

次にエラーメッセージの一覧と原因、その対処方法を示します。



重要

保守サービス会社に連絡するときはディスプレイの表示やピープ音のパターンをメモしておいてください。アラーム表示は保守を行うときに有用な情報となります。



POINT

POSTのエラーメッセージ一覧は本体のみのものです。マザーボードに接続されているオプションのSCSIコントローラボード、RAIDコントローラに搭載されているBIOSのエラーメッセージとその対処方法についてはオプションに添付の説明書を参照してください。

画面に表示されるエラーメッセージ

ディスプレイ上のエラーメッセージ		意 味	対処方法
0200	Failure Fixed Disk.	ハードディスクドライブエラー。	保守サービス会社に連絡してください。
0210	Stuck Key.	キーボード接続エラー。	キーボードを接続し直してください。
0211	Keyboard erro	キーボードの異常。	キーボードを接続し直して再起動してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
0213	Keyboard locked - Unlock key switch.	キーボードがロックされている。	キースイッチのロックを解除してください。ロックを解除しても直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
0220	Monitor type does not match CMOS - Run SETUP.	モニタのタイプがCMOS と一致しない。	SETUP を起動してください。SETUP で直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0230	System RAM Failed at offset.	システムRAM エラー。	保守サービス会社に連絡してください。
0231	Shadow Ram Failed at offset.	シャドウRAM エラー。	保守サービス会社に連絡してください。
0232	Extended RAM Failed at address line.	拡張RAM エラー。	
0250	System battery is dead - Replace and run SETUP.	システムのバッテリーがない。	保守サービス会社に連絡してバッテリーを交換してください。(交換後、SETUP を起動して設定し直してください。)
0251	System CMOS checksum bad - Default configuration used.	システムCMOS のチェックサムが正しくない。	デフォルト値が設定されました。SETUP を起動して、設定し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0252	Password checksum bad - Passwords cleared.	パスワードのチェックサムが正しくない。	パスワードがクリアされました。SETUP を起動して設定し直してください。
0260	System timer error.	システムタイマーエラー。	SETUP を起動して、時刻や日付を設定し直してください。設定し直しても同じエラーが続いて起きるときは保守サービス会社に連絡してください。
0270	Real time clock error.	リアルタイムクロックエラー。	
0271	Check date and time setting.	リアルタイムクロックの時刻設定に誤りがある。	
0280	Previous boot incomplete - Default configuration used	前回のシステム起動時POST が完了しませんでした。	SETUP で設定し直してください。
0281	Memory size found by POST differd from EISA CMOS	POST が検出したメモリサイズがEISA CMOS の内容と一致しませんでした。	EISA CMOS の初期化。
02D0	System cache error - Cache disabled.	システムキャッシュエラー。	キャッシュを使用できません。保守サービス会社に連絡してください。
02D1	System Memory exceeds the CPU's caching limit.	メモリがCPU のキャッシュの限界を超えた。	保守サービス会社に連絡してください。
02F4	EISA CMOS not write able.	EISA CMOS に書き込めない。	
02F5	DMA Test Failed.	DMA テストエラー。	
02F6	Software NMI Failed.	ソフトウェアNMI エラー。	
02F7	Fail-safe Timer NMI Failed.	フェイルタイマのNMI エラー。	
0B22	Processors are installed out of order.	CPU の故障。	保守サービス会社に保守を依頼してCPU を交換してください。
0B28	Unsupported CPU detected on CPU Socket 1.	CPU #1 ソケットにサポートしていないCPU が搭載されている。	保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。
0B29	Unsupported CPU detected on CPU Socket 2.	CPU #2 ソケットにサポートしていないCPU が搭載されている。	

ディスプレイ上のエラーメッセージ		意 味	対処方法
0B42	Resource Conflict	リソースが競合しています。	保守サービス会社に連絡してください。
0B43	Warning: IRQ not configured	IRQ が設定されていません。	
0B45	System Configuration Data Write Error	システム設定値の読み込みができません。	
0B60	CPU1_DIMM1 has been disabled	メモリエラーを検出した。 CPU1_DIMM1 が縮退している。	保守サービス会社に連絡してください。
0B61	CPU1_DIMM2 has been disabled	メモリエラーを検出した。 CPU1_DIMM2 が縮退している。	
0B62	CPU1_DIMM3 has been disabled	メモリエラーを検出した。 CPU1_DIMM3 が縮退している。	
0B63	CPU1_DIMM4 has been disabled	メモリエラーを検出した。 CPU1_DIMM4 が縮退している。	
0B64	CPU1_DIMM5 has been disabled	メモリエラーを検出した。 CPU1_DIMM5 が縮退している。	
0B65	CPU1_DIMM6 has been disabled	メモリエラーを検出した。 CPU1_DIMM6 が縮退している。	
0B66	CPU2_DIMM1 has been disabled	メモリエラーを検出した。 CPU2_DIMM1 が縮退している。	
0B67	CPU2_DIMM2 has been disabled	メモリエラーを検出した。 CPU2_DIMM2 が縮退している。	
0B68	CPU2_DIMM3 has been disabled	メモリエラーを検出した。 CPU2_DIMM3 が縮退している。	
0B69	CPU2_DIMM4 has been disabled	メモリエラーを検出した。 CPU2_DIMM4 が縮退している。	
0B6A	CPU2_DIMM5 has been disabled	メモリエラーを検出した。 CPU2_DIMM5 が縮退している。	
0B6B	CPU2_DIMM6 has been disabled	メモリエラーを検出した。 CPU2_DIMM6 が縮退している。	
0B6F	DIMM group with error is enabled.	メモリエラーを検出した。	
0B70	The error occurred during temperature sensor reading.	温度センサの読み出し中にエラーを検出した。	
0B71	System Temperature out of the range.	温度異常を検出した。	ファンの故障、またはファンの目詰まりが考えられます。保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。
0B74	The error occurred during voltage sensor reading.	電圧センサの読み出し中にエラーを検出した。	保守サービス会社に連絡してください。
0B75	System voltage out of the range.	システムの電圧に異常を検出した。	
0B80	BMC Memory Test Failed.	BMC デバイス(チップ)のエラー。	一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B81	BMC Firmware Code Area CRC check failed.		
0B82	BMC core Hardware failure.		
0B83	BMC IBF or OBF check failed.	BMC のアドレスへのアクセスに失敗した。	
0B8A	BMC SEL area full.	システムイベントログを書き込める容量がない。	SETUP を起動して、「Server」メニューの「Event Log Configuration」で、「Clear All Error Logs」を選び、<Enter> キーを押してログを消去してください。

ディスプレイ上のエラーメッセージ		意 味	対処方法
0B8B	BMC progress check timeout.	BMC チェックを一時中断した。	一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B8C	BMC command access failed.	BMC コマンドアクセスに失敗した。	
0B8D	Could not redirect the console - BMC Busy -	コンソールリダイレクトができない (BMC ビジー)。	
0B8E	Could not redirect the console - BMC Error -	コンソールリダイレクトができない (BMC エラー)。	
0B8F	Could not redirect the console - BMC Parameter Error -	コンソールリダイレクトができない (BMC パラメータエラー)。	
0B90	BMC Platform Information Area corrupted.	BMC デバイス (チップ) エラー。	一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B91	BMC update firmware corrupted.		
0B92	Internal Use Area of BMC FRU corrupted.	Chassis 情報を格納した SROM の故障。	致命的な障害ではありませんが、一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B93	BMC SDR Repository empty.	BMC デバイス (チップ) エラー。	一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B94	IPMB signal lines do not respond.	SMC (Sattelite Management Controller) の故障。	致命的な障害ではありませんが、一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B95	BMC FRU device failure.	Chassis 情報を格納した SROM の故障。	致命的な障害ではありませんが、一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B96	BMC SDR Repository failure.	センサデータレコード情報を格納した SROM の故障。	一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B97	BMC SEL device failure.	BMC デバイス (チップ) の故障。	
0B98	BMC RAM test error.	BMC RAM のエラー。	
0B99	BMC Fatal hardware error.	BMC のエラー。	
0B9A	Management controller not responding.	BMC のエラー。	RMC のファームウェアをアップロードしてください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B9B	Private I2C bus not responding.	プライベート I2C バスより無応答。	一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B9C	BMC internal exception.	BMC のエラー。	
0B9D	BMC A/D timeout error.	BMC のエラー。	
0B9E	SDR repository corrupt.	BMC のエラーまたは SDR のデータの破損。	
0B9F	SEL corrupt.	BMC のエラーまたはシステムイベントログのデータの破損。	
0BB0	SMBIOS - SROM data read error.	SROM のデータリードエラー。	保守サービス会社に連絡してください。
0BB1	SMBIOS - SROM data checksum bad.	SROM のデータチェックサムエラー。	

ディスプレイ上のエラーメッセージ		意 味	対処方法
0BD1	1st SMBus device Error detected.	SMBus に接続されているデバイスにアクセスできない。	保守サービス会社に連絡してください。
0BD4	2nd SMBus device Error detected.		
0BD7	3rd SMBus device Error detected.		
0BDA	4th SMBus device Error detected.		
0BDD	5th SMBus device Error detected.		
0BE0	6th SMBus device Error detected.		
8068	Unsupported Processor Speed detected on CPU Slot 1	未サポートのクロックスピードの CPU 搭載を検出した。	保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。
8069	Unsupported Processor Speed detected on CPU Slot 2		
8150	NVRAM Cleared By Jumper	ジャンパによって CMOS がクリアされました。	SETUP で設定し直してください。
8151	Password Cleared By Jumper	ジャンパによってパスワードがクリアされました。	SETUP でパスワードを再設定してください。
8160	Mismatch Processor Type/Speed detected on Processor 1.	CPU #1 のタイプもしくは周波数が合っていません。	保守サービス会社に連絡してください。
8161	Mismatch Processor Type/Speed detected on Processor 2.	CPU #2 のタイプもしくは周波数が合っていません。	
	Expansion ROM not initialized - PCI Mass Storage Controller in slot xx	オプション ROM の展開領域が不足。	SCSI コントローラで、OS がインストールされているハードディスクドライブを接続しない場合はそのボードの ROM 展開を無効にしてください。 「システム BIOS のセットアップ (SETUP)」の「PCI Configuration サブメニュー」(162 ページ) を参照してください。
	H/W Configuration of BMC is corrupted. !!Update BMC F/W Configuration by configuration tool!! !!Refer to BMC configuration manual!!	RAS 機能の設定が行われていません。	保守サービス会社に連絡してください。
	Memory Scramble mode disabled	メモリの Scramble 設定がエラーです。	

POST中にRAIDコントローラが表示するエラーメッセージについて

ディスプレイ上のエラーメッセージ	意 味	対処方法
Memory/battery problems were detected. The adapter has recovered, but cached data was lost. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	RAID コントローラ上のメモリまたはバッテリーのエラーによって、キャッシュデータがロストした。	保守サービス会社に連絡してください。
Firmware version inconsistency was detected. The adapter has recovered, but cached data was lost. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	ファームウェアバージョンの不整合により、キャッシュデータをロストした。	
Foreign configuration(s) found on adapter Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	RAID コントローラ上にないコンフィグレーションを検出した。	C キーを押してユーティリティを起動し、インポートするか、クリアしてください。
Previous configuration cleared or missing Importing configuration created on MM/DD hh:mm Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	コンフィグレーションがクリアされたが見つからないため、MM/DD hh:mm のコンフィグレーションをインポートした。	保守サービス会社に連絡してください。
An enclosure was found that contains both SAS and SATA drives, but this controller does not allow mixed drive types in a single enclosure. Please correct the problem then restart your system. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	同一エンクロージャに SAS ドライブと SATA ドライブが混在されている。	RAID コントローラの故障の可能性があります。保守サービス会社に連絡し RAID コントローラを交換してください。
SAS drives were detected, but this controller does not support SAS drives. Please remove the SAS drives then restart your system. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	SAS ドライブをサポートしていない。	
SATA drives were detected, but this controller does not support SATA drives. Please remove the SATA drives then restart your system. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	SATA ドライブをサポートしていない。	
Invalid SAS topology detected. Please check your cable configurations, repair the problem, and restart your system.	SAS インタフェース上で不正な通信処理が検出された。	ケーブルの接続状態を確認してください。それでも改善しない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
The battery hardware is missing or malfunctioning, or the battery is unplugged. If you continue to boot the system, the battery-backed cache will not function. Please contact technical support for assistance. Press 'D' to disable this warning (if your controller does not have a battery).	バッテリーが未接続、またはバッテリーが認識できない。	【バッテリー未使用時】 『D』キーを押して本メッセージを非表示にしてください。 【バッテリー使用時】 バッテリーの接続状態を確認してください。それでも改善しない場合は保守サービス会社に連絡してください。

ディスプレイ上のエラーメッセージ	意 味	対処方法
<p>Your VD's that are configured for write-back are temporarily running in write-through mode. This is caused by the battery being charged, missing, or bad. Please allow battery to charge for 24 hours before evaluating battery for replacement. The following VD's are affected :XX Press any key to continue.</p>	<p>バッテリーが充電不十分、未接続、あるいは故障により VDxx をライトスルーモードに変更した。 xx : 該当する VD の番号</p>	<p>【バッテリー未使用時】 本メッセージを無視してください。</p> <p>【バッテリー使用時】 WebBIOSあるいは Universal RAID Utility を起動し、バッテリーが認識されているかどうか確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーが認識されていない場合 → ・ バッテリーの接続状態を確認。 ・ 充電量が低すぎる可能性があるため、24 時間以上システムを再起動せずに通電し、バッテリーを充電。 ● バッテリーが認識できている場合 → ・ 9 時間以上システムを再起動せずに通電し、バッテリーを充電。 <p>上記でも改善されない場合は、保守サービス会社に連絡してください。</p>
<p>Invalid SAS Address present in MFC data. Please program valid SAS Address, and restart your system.</p>	<p>不正な SAS アドレスを検出した。</p>	<p>保守サービス会社に連絡してください。</p>
<p>Some configured disks have been removed from your system, or are no longer accessible. Please check your cables and also ensure all disks are present. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.</p>	<p>接続されていたいくつかの物理デバイス、あるいは全ての物理デバイスが認識できない。</p>	<p>ケーブル、物理デバイスの接続状態を確認してください。それでも改善しない場合は保守サービス会社に連絡してください。</p>
<p>The following VD's have missing disks: xx If you proceed (or load the configuration utility), these VD's will be marked OFFLINE and will be inaccessible. Please check your cables and ensure all disks are present. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.</p>		
<p>The following VD's are missing: xx If you proceed (or load the configuration utility), these VD's will be removed from your configuration. If you wish to use them at a later time, they will have to be imported. If you believe these VD's should be present, please power off your system and check your cables to ensure all disks are present. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.</p>		
<p>All of the disks from your previous configuration are gone. If this is an unexpected message, then please power off your system and check your cables to ensure all disks are present. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.</p>		

ディスプレイ上のエラーメッセージ	意 味	対処方法
The cache contains dirty data, but some VD's are missing or will go offline, so the cached data can not be written to disk. If this is an unexpected error, then please power off your system and check your cables to ensure all disks are present. If you continue, the data in cache will be permanently discarded. Press 'X' to acknowledge and permanently destroy the cached data.	VDが認識できないか、またはオフラインであるため、キャッシュデータを物理デバイスに書き込めない。	ケーブル、物理デバイス、アップグレードキットの接続状態を確認してください。それでも改善しない場合は保守サービス会社に連絡してください。 ※『X』キーを押すとキャッシュデータはロストします。
Invalid memory configuration detected. Please contact your system support. System has halted.	RAID コントローラ上のメモリの構成が不正です。	保守サービス会社に連絡し RAID コントローラを交換してください。
RAID Adapter FW Failed Validation!!! Adapter needs to be reflashed. Press any key to continue.	RAID コントローラ上のファームウェアが異常です。	
Cache data was lost due to an unexpected power-off or reboot during a write operation, but the adapter has recovered. This could be due to memory problems, bad battery, or you may not have a battery installed. Press any key to continue or 'C' to load the configuration utility.	書き込み中の予期せぬ電源OFFかリブートにより、キャッシュデータがロストした。	【バッテリー未使用時】 WebBIOS あるいは Universal RAID Utility からキャッシュモードを確認し、強制ライトバックとなっている場合は通常ライトバック、またはライトスルーに設定してください。 【バッテリー使用時】 バッテリーの接続状態を確認してください。 それでも改善しない場合は保守サービス会社に連絡し RAID コントローラおよびバッテリーを交換してください。
Entering the configuration utility in this state will result in drive configuration changes. Press 'Y' to continue loading the configuration utility or please power off your system and check your cables to ensure all disks are present and reboot.	この状態でコンフィギュレーションユーティリティ (WebBIOS) を起動すると、構成が変更される。	保守サービス会社に連絡し RAID コントローラを交換してください。
Multibit ECC errors were detected on the controller. DIMM on the controller needs replacement. If you continue, data corruption can occur. Press 'X' to continue or else power off the system and replace the DIMM module and reboot. If you have replaced the DIMM please press 'X' to continue.	RAID コントローラ上のメモリでマルチビットECCエラーを検出した。	
Multiple Single-bit ECC errors were detected during the previous boot of the controller. DIMM on the controller needs replacement. If you continue, data corruption can occur. Press 'X' to continue or else power off the system and replace the DIMM module and reboot. If you have replaced the DIMM please press 'X' to continue.	RAID コントローラ上のメモリでシングルビットECCエラーを検出した。	

ディスプレイ上のエラーメッセージ	意 味	対処方法
Single-bit overflow ECC errors were detected during the previous boot of the controller. DIMM on the controller needs replacement. If you continue, data corruption can occur. Press 'X' to continue or else power off the system and replace the DIMM module and reboot. If you have replaced the DIMM please press 'X' to continue.	RAID コントローラ上のメモリでシングルビット ECC エラーを多数検出した。	保守サービス会社に連絡し RAID コントローラを交換してください。

ビープ音によるエラー通知

POST中にエラーを検出しても、ディスプレイ装置の画面にエラーメッセージを表示できない場合があります。この場合は、一連のビープ音でエラーが発生したことを通知します。エラーはビープ音のいくつかの音の組み合わせでその内容を通知します。

たとえば、ビープ音が1回、連続して3回、1回、1回の組み合わせで鳴った（ビープコード: 1-3-1-1）ときはDRAMリフレッシュテストエラーが起きたことを示します。

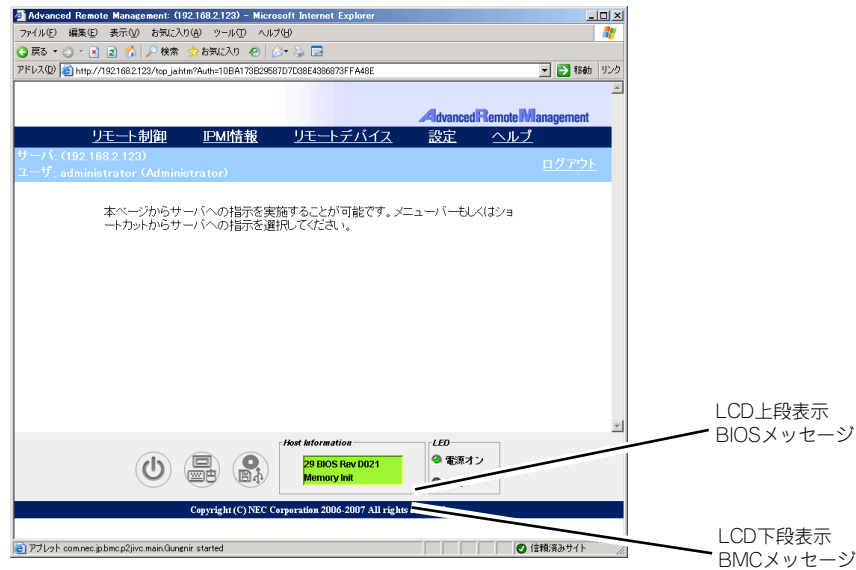
次にビープコードとその意味、対処方法を示します。

ビープコード	意 味	対処方法
3-3-(繰り返し)	ROM チェックサムエラー	保守サービス会社に連絡してマザーボードを交換してください。
1-2-2-3	ROM チェックサムエラー	
1-3-1-1	DRAM リフレッシュテストエラー	DIMM の取り付け状態を確認してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してDIMM またはマザーボードを交換してください。
1-3-1-3	キーボードコントローラテストエラー	キーボードを接続し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してマザーボードを交換してください。
1-3-3-1	メモリを検出できない メモリの容量チェック中のエラー	DIMM の取り付け状態を確認してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してDIMM、またはマザーボードを交換してください。
1-3-4-1	DRAM アドレスエラー	
1-3-4-3	DRAM テスト Low Byte エラー	
1-4-1-1	DRAM テスト High Byte エラー	
1-5-1-1	CPU の起動エラー	保守サービス会社に連絡してマザーボードを交換してください。
1-5-2-1	CPU が搭載されていない	
1-5-4-2	AC 電源の供給が遮断された	停電や瞬断などによりAC 電源の供給が遮断され、システムの再起動が行われたことを通知するものです。異常ではありません。
1-5-4-4	電源異常	保守サービス会社に連絡してマザーボードを交換してください。
2-1-2-3	BIOS ROM コピーライトテストエラー	
2-2-3-1	不正割り込みテストエラー	
1-2	オプションROM 初期化エラー	SETUP の設定を確認してください。また、増設したPCI ボードのオプションROM の展開が表示されない場合は、PCI ボードの取り付け状態を確認してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡して、増設したPCI ボード、またはマザーボードを交換してください。

仮想LCD上のエラーメッセージ

EXPRESSSCOPEエンジン 2（BMC）Webブラウザ画面上で、仮想LCDのエラーメッセージを確認できます。上段と下段それぞれのエラーメッセージの一覧と障害内容、その対処方法を示します。

仮想LCDについては、EXPRESSSCOPEエンジン 2ユーザーズガイドを参照してください。



● LCD上段表示メッセージ

LCD 上段表示 BIOS メッセージ	障害内容	対処方法
XX BIOS Rev XXXX	POST 実行中の表示です	POST が完了するまでお待ちください。
Prepare To Boot	POST が完了すると表示されます。正常に動作しています。	Boot が完了するまでお待ちください。
Mem Reconfigured	メモリが縮退した状態で動作しています。	保守サービス会社に連絡してください。
Memory C-Err XX	メモリの回復可能エラーが発生しています。	
PCI Bus SERR XX	PCI バスの SERR が発生しました。	
PCI Bus PERR XX	PCI バスの PERR が発生しました。	
Mem Err Disable	メモリの回復可能エラーが多発しました。	

● LCD下段表示メッセージ

LCD 下段表示 BMC メッセージ	障害内容	対処方法
Proc1 VccpAlm XX	電圧異常を検出。 XX が09の場合上限異常を示す。 XX が02の場合下限異常を示す。 警告レベルの電圧異常を検出。 XX が07の場合上限警告を示す。 XX が00の場合下限警告を示す。	保守サービス会社に連絡してください。
Proc2 VccpAlm XX		
Processor1 P_Vtt Alm XX		
Processor2 P_Vtt Alm XX		
Processor1 1.5v Alm XX		
Processor2 1.5v Alm XX		
Baseboard 1.0vsb Alm XX		
Baseboard 1.1v Alm XX		
Baseboard 1.2vsb Alm XX		
BB +1.5v Alm XX		
BB +1.8v Alm XX		
BB 1.8vsb Alm XX		
BB +3.3v Alm XX		
BB 3.3vsb Alm XX		
BB +5.0v Alm XX		
BB 5vsb Alm XX		
BB +12v Alm XX		
VBAT Alm XX		
BB Temp1 Alm XX	温度異常を検出した。 XX が09の場合高温異常を示す。 XX が02の場合低温異常を示す。 警告レベルの温度異常を検出した。 XX が07の場合高温警告を示す。 XX が00の場合低温警告を示す。	ファンの故障またはファンの目詰まりが考えられます。保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。
Proc1 Therm % XX		
Proc2 Therm % XX		
CPU1_DIMM1 Temp XX		
CPU1_DIMM2 Temp XX		
CPU1_DIMM3 Temp XX		
CPU1_DIMM4 Temp XX		
CPU1_DIMM5 Temp XX		
CPU1_DIMM6 Temp XX		
CPU2_DIMM1 Temp XX		
CPU2_DIMM2 Temp XX		
CPU2_DIMM3 Temp XX		
CPU2_DIMM4 Temp XX		
CPU2_DIMM5 Temp XX		
CPU2_DIMM6 Temp XX		
FP Temp Alm XX		
DUMP Request !	ダンプボタンが押された。	メモリダンプが採取し終わるまでお待ちください。
OS shutdown Alm	OS の STOP エラーが発生した。	画面に表示されたメッセージを記録し、メモリダンプが採取し終わるまでお待ちになった後、保守サービス会社に連絡し保守を依頼してください。
Power Unit 1 Alm	電源ユニット 1 の異常が発生した。	電源コードが接続されているか確認し、それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。
Power Unit 2 Alm	電源ユニット 2 の異常が発生した。	
Proc Missing	CPU が実装されていない。	保守サービス会社に連絡し、CPU またはマザーボードを交換してください。

LCD 下段表示 BMC メッセージ	障害内容	対処方法
Proc1 T-Trip	CPU1 の温度異常により強制電源 OFF を行った。	保守サービス会社に連絡してください。
Proc2 T-Trip	CPU2 の温度異常により強制電源 OFF を行った。	
ChipSet T-Trip	ChipSet の温度異常により強制電源 OFF を行った。	
CPU1_DIMM U-Err	CPU1 側のどれかのメモリで回復不能エラーが発生しています。	
CPU2_DIMM U-Err	CPU2 側のどれかのメモリで回復不能エラーが発生しています。	
Processor1 IERR	CPU1 の内部エラー (IERR) が発生した。	
Processor2 IERR	CPU2 の内部エラー (IERR) が発生した。	
SMI timeout	システム管理割り込み処理中にタイムアウトが発生した。	
WDT timeout	ウォッチドックタイマタイムアウトが発生した。	
HDD 1 Fault	ハードディスクドライブが縮退した状態で動作しています (本体装置内蔵の RAID コントローラ (N8103-116A 相当) 使用時のみサポート)。 HDD 7 Fault ~ HDD 8 Fault は 2.5 インチハードディスクドライブモデルのみ。	
HDD 2 Fault		
HDD 3 Fault		
HDD 4 Fault		
HDD 5 Fault		
HDD 6 Fault		
HDD 7 Fault		
HDD 8 Fault		
Sys Fan 1R Alarm	ファンアラームを検出した。	ファンの故障またはファンの目詰まりが考えられます。保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。
Sys Fan 2R Alarm		
Sys Fan 3R Alarm		
Sys Fan 4R Alarm		
Sys Fan 1F Alarm		
Sys Fan 2F Alarm		
Sys Fan 3F Alarm		
Sys Fan 4F Alarm		

Windowsのエラーメッセージ

Windows Storage Server 2003 R2の起動後に致命的なエラー（STOPエラーやシステムエラー）が起きるとディスプレイ装置の画面がブルーに変わり、エラーに関する詳細なメッセージが表示されます。

```
*** STOP: 0x0000000A (0x00000074, 0x00000002, 0x00000001, 0x80108E7A)
IRQL_NOT_LESS_OR_EQUAL*** Address 80108E7A has base at 8010000 _ ntoskrnl.exe
```

画面に表示されたメッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

また、このエラーが起きると自動的にメモリダンプを実行し任意のディレクトリにメモリダンプのデータを保存します（出荷時設定は「%SystemRoot%MEMORY.DMP」）。のちほど保守サービス会社の保守員からこのデータを提供していただくよう依頼される場合があります。MOやDATなどのメディアにファイルをコピーしての保守員に渡せるよう準備しておいてください。



STOPエラーやシステムエラーが発生しシステムを再起動したとき、仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがありますが、そのまま起動してください。



このファイルをメディアにコピーする前に、イベントビューアを起動して、システムイベントログでSave Dumpのイベントログが記録され、メモリダンプが保存されたことを確認してください。

このほかにもディスクやネットワーク、プリンタなど内蔵デバイスや周辺機器にエラーが起きた場合にも警告メッセージが表示されます。メッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ

ESMPRO/ServerAgentやESMPRO/ServerManager、RAIDシステム管理ユーティリティなどの管理ツールを本装置や管理PCへインストールしておく、何らかの障害が起きたときに管理PCや本体に接続しているディスプレイ装置から障害の内容を知ることができます。

各種アプリケーションのインストールや運用方法についてはソフトウェア編、またはオンラインドキュメントを参照してください。

ESMPROを使ったシステム構築や各種設定の詳細についてはオンラインヘルプで詳しく説明されています。

トラブルシューティング

思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容に従って本装置をチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理に従ってください。

それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。

本体について（導入時の問題）

【?】電源がONにならない

- ☐ 電源が本体に正しく供給されていますか？
 - 電源コードが本体の電源規格に合ったコンセント（またはUPS）に接続されていることを確認してください。
 - 本体に添付の電源コードを使用してください。また、電源コードの被覆が破れていたり、プラグ部分が折れていたりしていないことを確認してください。
 - 接続したコンセントのブレーカがONになっていることを確認してください。
 - UPSに接続している場合は、UPSの電源がONになっていること、およびUPSから電力が出力されていることを確認してください。詳しくはUPSに添付の説明書を参照してください。
また、BIOSセットアップユーティリティでUPSとの電源連動機能の設定ができます。
- ☐ POWERスイッチを押しましたか？
 - 本体前面にあるPOWERスイッチを押して電源をON（POWERランプ点灯）にしてください。

【?】電源がOFFにならない

- ☐ POWERスイッチの抑止機能を有効にしていますか？
 - いったんシステムを再起動して、BIOSセットアップユーティリティを起動してください。
<確認するメニュー：「Security」→「Power Switch Inhibit」>

【?】POSTが終わらない

- ☐ メモリが正しく搭載されていますか？
 - メモリが正しく搭載されているか確認してください。
- ☐ 大容量のメモリを搭載していますか？
 - 搭載しているメモリサイズによってはメモリチェックで時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。

- システムの起動直後にキーボードやマウスを操作していませんか?
 - 起動直後にキーボードやマウスを操作すると、POSTは誤ってキーボードコントローラの異常を検出し、処理を停止してしまうことがあります。そのときはもう一度、起動し直してください。また、再起動直後は、BIOSの起動メッセージなどが表示されるまでキーボードやマウスを使って操作しないよう注意してください。
- 本装置で利用できるメモリ・PCIデバイスを搭載していますか?
 - 弊社が指定する機器以外は動作の保証はできません。

【?】初期設定ツールで本装置の自動発見ができない

- LANケーブルが接続されていない可能性があります。本体標準装備のLANポートにLANケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- サーバが正常に起動していない可能性があります。コンピュータ名の重複やIPアドレス/サブネットマスクの設定に誤りがないか確認してください。同一ネットワーク上の複数の本装置を再インストールした場合、複数台同時に起動すると2台目以降は正常に起動できません。1台ずつ起動して初期設定を行い、初期設定完了後に次の1台を起動してください。
- ネットワーク負荷が高い可能性があります。自動発見オプションの設定でオプションの値を変更してください。

【?】初期設定ツールで設定変更が開始できない

- 本装置の一覧で初期設定サービスが停止となっている場合、初期設定ツールによる設定変更はできません。リモートデスクトップにて設定変更を行ってください。

【?】初期設定ツールで設定変更ができない

- コンピュータ名やIPアドレスを誤って設定した可能性があります。同一ネットワーク上にコンピュータ名やIPアドレスが同じマシンが存在しないか確認してください。もしコンピュータ名やIPアドレスを重複して設定してしまった場合は、重複したマシンをいったんネットワークから切り離して、本装置を再起動し、初期設定ツールで設定変更してください。
- 複数のLANポートにケーブルが接続されている可能性があります。複数のLANポートを使用する場合は、まず本体標準装備のLANポートのみにケーブルを接続して初期設定を行い、初期設定完了後に残りのコネクタにケーブルを接続してください。

【?】 初期設定ツールでリモートデスクトップの起動ができない

- iStorage NSサーバの一覧でリモートデスクトップ起動が可となっているサーバに対してリモートデスクトップ接続が出来ない場合は、ネットワークの設定に問題がある可能性があります。本装置および、初期設定ツールを動作させているWindowsマシンのネットワークの設定を確認してください。
- iStorage NSサーバの一覧でリモートデスクトップ起動が不可となっている場合、リモートデスクトップ接続はできません。初期設定サービスが起動中の場合は、初期設定ツールで正しく設定変更を行ってください。初期設定サービスが停止の場合は、ネットワークの設定に問題がある可能性があります。初期設定ツールを動作させているWindowsマシンのネットワークの設定を確認してください。

【?】 初期設定ツールでリモートデスクトップ起動が不可と表示される

- 初期設定が完了していない場合は、リモートデスクトップ起動が不可となります(DHCPサーバからアドレスを取得できない場合)。初期設定ツールで初期設定を行ってください。
- 初期設定が完了した iStorage NSサーバ についてリモートデスクトップ起動が不可となる場合は、ネットワークの設定に問題がある可能性があります。本装置および、初期設定ツールを動作させているWindowsマシンが同一ネットワークに属しているか確認してください。
- リモートデスクトップ起動の確認に時間がかかり、不可となってしまう場合があります。もう一度自動発見を行って可とならないか確認してください。なお、iStorage NSサーバの一覧でリモートデスクトップ起動が不可となっている場合、リモートデスクトップ接続はできません。

本体について（運用時の問題）

【?】 起動できない

- 本装置の環境（ネットワークケーブルの接続など）を確認してください。
- 光ディスクドライブに「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットしている場合は、CD-ROMから起動しています。CD-ROMを取り出して再起動してください。

【?】 本体の電源が自動的にOFFになった

- 装置の温度が高くなりすぎた可能性があります。通気が妨げられていないか確認し、装置の温度が下がってから再起動してください。それでも電源がOFFになる場合は、保守員に連絡してください。

【?】 ブルー画面（STOPエラー画面）で電源OFFできない

- ☐ 一度押しでは電源OFFはできません。
- ブルー画面で電源をOFFにする時は、強制電源OFF（電源スイッチを4秒以上押し続ける）を行ってください。



プロセッサが異常高温になると、高価な部品を保護するための回路が作動します。この場合、システムはリセット状態となるため、POWERスイッチによる電源制御ができなくなります。電源コードを抜いて、電源をOFFにし、運用環境（周囲温度など）を確認した後、しばらくしてから再度、電源コードを接続し、電源をONする必要があります。なお、プロセッサが冷却されるまでの間（通常であれば5分程度）は、電源をOFFの状態にしておく必要がある場合もあります。

【?】 Webが遅い

- ネットワーク上に負荷がかかって、通信が非常に遅くなっている可能性があります。ESMPRO/ServerAgentのネットワーク監視でネットワークの状況を確認してください。

【?】 UNIXクライアントからの接続が正常にできない

- UNIXクライアント接続用のサーバ名が正しく設定されていない可能性があります。「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のオンラインドキュメント「管理者ガイド」（または<http://support.express.nec.co.jp/istorage/>）を参照して設定を確認してください。

【?】 Macintoshクライアントからの接続が正常にできない

- AppleTalk名が正しく設定されていない可能性があります。「管理者ガイド」（<http://support.express.nec.co.jp/istorage/>）を参照して設定を確認してください。

【?】運用中、システムイベントログに次のようなエラーが記録される

イベントID:17

ソース:W32Time

種類:エラー

説明: タイム プロバイダ NtpClient: 手動で構成されたピア 'time.windows.com,0x1'の DNS 参照中に予期しないエラーが発生しました。30分後に再試行します。

エラー: 到達できないホストに対してソケット操作を実行しようとした。
(0x80072751)

- タイムサーバーが正しく設定されていない場合に、上記のようなイベントログが記録されますが、運用上問題はありません。
コンピュータの時計の同期をとりたい場合は、[スタート]—[コントロールパネル]—[日付と時刻]をクリックし、[インターネット時刻]タブを選択し、タイムサーバーの設定を行ってください。

【?】運用中、システムイベントログに次のようなエラーが記録される

イベントID:7026

ソース:Service Control Manager

種類:エラー

説明: 次のブート開始ドライバまたはシステム開始ドライバを読み込むことができませんでした: i8042prt

- キーボードが接続されていないと、上記のようなイベントログが記録される場合がありますが、運用上問題はありません。

【?】運用中、システムイベントログに次のような警告が記録される

イベントID:32

ソース:AppleTalk

種類:警告

イベントID: 1102

説明: アダプタ "Intel(R) PRO/100 M Network Connection" の AppleTalk の初期化中に取得されたノード ID は別のデバイスに割り当てられました。現在のノード ID は解放されて、新しいノード ID がシード範囲のシード ルーターより取得されました。

- ネットワークに接続されていない場合に、上記のようなイベントログが記録されることがありますが、運用上問題はありません。

【?】リモートデスクトップからオプションネットワークボードの設定ができない

- リモートデスクトップではオプションネットワークボードのチーミング設定／Link設定はできません。本体にコンソール（キーボード等）を接続し、管理者権限（Administrator等）でログインして実施してください。

【?】OSが起動しない

- ☐ ディスプレイ接続時に、起動時のメッセージで「WARNING!!!Configuration Change(s) Detected!!!」が表示される場合があります。
- RAIDシステムで設定されたRAIDドライブの接続を確認してください。
- ☐ 「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットしていませんか？
- 「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを取り出して再起動してください。

【?】内蔵デバイスや外付けデバイスにアクセスできない（または正しく動作しない）

- ☐ ケーブルは正しく接続されていますか？
 - インタフェースケーブルや電源ケーブル（コード）が確実に接続されていることを確認してください。また接続順序が正しいかどうか確認してください。
- ☐ 電源ONの順番を間違っていないですか？
 - 外付けデバイスを接続している場合は、外付けデバイス、本体の順に電源をONにします。
- ☐ ドライバをインストールしていますか？
 - 接続したオプションのデバイスによっては専用のデバイスドライバが必要な場合があります。デバイスに添付の説明書を参照してドライバをインストールしてください。
- ☐ オプションボードの設定を間違えていませんか？
 - PCIデバイスについては通常、特に設定を変更する必要はありませんが、ボードによっては特別な設定が必要なものもあります。詳しくはボードに添付の説明書を参照して正しく設定してください。
 - シリアルポートやパラレルポート、USBポートに接続しているデバイスについては、I/Oポートアドレスや動作モードの設定が必要なものもあります。デバイスに添付の説明書を参照して正しく設定してください。

【?】キーボードやマウスが正しく機能しない

- ☐ ケーブルは正しく接続されていますか？
 - 本体背面や前面にあるコネクタに正しく接続されていることを確認してください。
 - 本体の電源がONになっている間に接続すると正しく機能しません（USBデバイスを除く）。いったん本体の電源をOFFにしてから正しく接続してください。
- ☐ BIOSの設定を間違えていませんか？
 - BIOSセットアップユーティリティでキーボードの機能を変更することができます。BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。
- ☐ ドライバをインストールしていますか？
 - 使用しているOSに添付の説明書を参照してキーボードやマウスのドライバがインストールされていることを確認してください（これらはOSのインストールの際に標準でインストールされます）。また、OSによってはキーボードやマウスの設定を変更できる場合があります。使用しているOSに添付の説明書を参照して正しく設定されているかどうか確認してください。

【?】CD-ROMなどの光磁気ディスクにアクセスできない・正しく再生できない

- ☐ 光ディスクドライブのトレイに確実にセットしていますか？
 - トレーにはディスクを保持するホルダーがあります。ホルダーで確実に保持されていることを確認してください。
- ☐ 本装置で利用できるディスクですか？
 - CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。

→ Macintosh専用のディスクは使用できません。

【?】ハードディスクドライブにアクセスできない

☐ 本体で利用できるハードディスクドライブですか？

→ 弊社が指定する機器以外は動作の保証はできません。

☐ ハードディスクドライブは正しく取り付けられていますか？

→ ハードディスクドライブの取り付け状態やケーブルの接続状態を確認してください。

【?】SCSI機器（内蔵・外付け）にアクセスできない

☐ 本体で利用できるSCSI機器ですか？

→ 弊社が指定する機器以外は動作の保証はできません。

☐ SCSIコントローラの設定を間違えていませんか？

→ オプションのSCSIコントローラボードを搭載し、SCSI機器を接続している場合は、SCSIコントローラボードが持つBIOSセットアップユーティリティで正しく設定してください。詳しくはSCSIコントローラボードに添付の説明書を参照してください。

☐ SCSI機器の設定を間違えていませんか？

→ 外付けSCSI機器を接続している場合は、SCSI IDや終端抵抗などの設定が必要です。詳しくはSCSI機器に添付の説明書を参照してください。

【?】ネットワーク上で認識されない

☐ ケーブルを接続していますか？

→ 本体背面にあるネットワークポートに確実に接続してください。また、使用するケーブルがネットワークインタフェースの規格に準拠したものであることを確認してください。

☐ BIOSの設定を間違えていませんか？

☐ BIOSセットアップユーティリティで内蔵のネットワークコントローラを無効にすることができます。BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。

☐ プロトコルやサービスのセットアップを済ませていますか？

→ 本体ネットワークコントローラ用のネットワークドライバをインストールしてください。また、TCP/IPなどのプロトコルのセットアップや各種サービスが確実に設定されていることを確認してください。

☐ 転送速度の設定を間違えていませんか？

→ 本体に標準装備の内蔵ネットワークコントローラは、転送速度が1000Mbps、100Mbpsと10Mbpsのネットワークでも使用することができます。この転送速度の切り替えまたは設定はOS上から行えますが、「自動検出」という機能は使用せず、1000Mbps、100Mbpsまたは10Mbpsのいずれかに設定してください。
また、接続しているHubと転送速度やデュプレックスモードが同じであることを確認してください。

【?】スタンバイおよび休止状態からWake on LANが動作しない

→ スタンバイおよび休止状態からのWake on LANは未サポートです。

Windowsについて

[?] システム起動時に、システムイベントログに次のような内容のエラー、および警告が記録される場合がある

- イベントID : 11
 ソース : iANSMiniport
 種類 : 警告
 分類 : なし
 説明 : 次のアダプタリンクは接続されていません。
 Intel(R) ~
- イベントID : 13
 ソース : iANSMiniport
 種類 : 警告
 分類 : なし
 説明 : Intel(R) ~ がチームで無効化されました。
- イベントID : 16
 ソース : iANSMiniport
 種類 : 警告
 分類 : なし
 説明 : [チーム名]、最後のアダプタはリンクを失いました。ネットワークの接続が失われました。
- イベントID : 22
 ソース : iANSMiniport
 種類 : 警告
 分類 : なし
 説明 : プライマリアダプタはプローブを検出しませんでした。Intel(R) ~
 原因でチームが分割されている可能性があります。

→ ネットワークアダプタでチームを設定した場合、システム起動時に上記のイベントログが記録されますが、LAN ドライバの動作上問題ありません。

EXPRESSBUILDERについて

EXPRESSBUILDERから起動できない場合は、次の点について確認してください。

- ☐ POSTの実行中に「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットし、再起動しましたか？
 - POSTを実行中に「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットし、再起動しないとエラーメッセージが表示されたり、OSが起動したりします。
- ☐ BIOSのセットアップを間違えていませんか？
 - BIOSセットアップユーティリティでブートデバイスの起動順序を設定することができます。BIOSセットアップユーティリティで光ディスクドライブが最初に起動するよう順序を変更してください。
 <確認するメニュー: 「Boot」 >

オートランで起動するメニューについて

【?】 オンラインドキュメントが読めない

- ☐ Adobe Readerが正しくインストールされていますか？
 - オンラインドキュメントの文書の一部は、PDFファイル形式で提供されています。あらかじめAdobe Readerをインストールしておいてください。
- ☐ 使用しているOSは、Windows XP SP2ですか？
 - SP2にてオンラインドキュメントを表示しようとする、ブラウザ上に以下のような情報バーが表示されることがあります。
「セキュリティ保護のため、コンピュータにアクセスできるアクティブコンテンツは表示されないよう、Internet Explorerで制限されています。オプションを表示するには、ここをクリックしてください...」
この場合、以下の手順にてドキュメントを表示させてください。
 - (1) 情報バーをクリックする。
ショートカットメニューが現れます。
 - (2) ショートカットメニューから、「ブロックされているコンテンツを許可」を選択する。
「セキュリティの警告」ダイアログボックスが表示されます。
 - (3) ダイアログボックスにて「はい」を選択。

【?】 メニューが表示されない

- ☐ ご使用のOSは、Windows XP以降、またはWindows 2003以降ですか？
 - 本プログラムは、Windows XP以降またはWindows 2003以降のオペレーティングシステムにて動作させてください。
 - Windows 2000の場合は、あらかじめIE6.0をインストールしてください。
 - Windows 2008 Server Core環境には対応していません。
- ☐ <Shift>キーを押していませんか？
 - <Shift>キーを押しながらディスクをセットすると、オートラン機能がキャンセルされます。
- ☐ OSの状態は問題ありませんか？
 - レジストリ設定やディスクをセットするタイミングによっては、メニューが起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットしたDVDドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

【?】 メニュー項目がグレイアウトされている

- ☐ ご使用の環境は正しいですか？
 - 実行するソフトウェアによっては、管理者権限が必要だったり、本装置上で動作することが必要だったりします。適切な環境にて実行するようにしてください。

[?] "Can not open the Autorun menu." というエラーが表示される

- ☐ ご使用の環境は正しいですか?
 - 本プログラムは、日本語バージョンのオペレーティングシステムにて動作させてください。

ESMPROについて

ESMPRO/ServerAgent (Windows版) について

- 添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerAgent (Windows版) インストレーションガイド」でトラブルの回避方法やその他の補足説明が記載されています。参照してください。

ESMPRO/ServerManagerについて

- 添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerManagerインストレーションガイド」でトラブルの回避方法やその他の補足説明が記載されています。参照してください。

RAIDシステム、RAIDコントローラについて

RAIDシステムを構成している本体装置がうまく動作しないときや、管理ユーティリティが正しく機能しないときは次の点について確認してください。また、該当する項目があったときは、処理方法にしたがった操作をしてください。

[?] OSをインストールできない

- ☐ RAIDコントローラのコンフィグレーションを行いましたか?
 - WebBIOSを使って正しくコンフィグレーションしてください。
- ☐ バーチャルディスクを作成しましたか?
 - WebBIOSを使ってバーチャルディスクを作成してください。

【?】 OSを起動できない

- ☐ RAIDコントローラのBIOS設定が変更されていませんか？
→ WebBIOSを使って正しく設定してください。
- ☐ POSTでRAIDコントローラを認識していますか？
→ RAIDコントローラが正しく接続されていることを認識してから電源をonにしてください。
→ 正しく接続していても認識されない場合は、RAIDコントローラの故障が考えられます。契約されている保守サービス会社、または購入された販売店へ連絡してください。
- ☐ RAIDコントローラがまっすぐ奥までPCIスロットに実装されていますか？
→ 正しく実装してください。
- ☐ RAIDコントローラを実装制限があるPCIスロットに実装していませんか？
→ 本体装置の実装制限を確認後、正しいスロットに実装してください。

上記の処置を実施しても認識されない場合は、RAIDコントローラの故障が考えられます。契約されている保守サービス会社、または購入された販売店へ連絡してください。

- ☐ ハードディスクドライブが奥まで、しっかり実装されていますか？
→ 正しく実装してください。
- ☐ SAS ケーブルが正しく接続されていますか？（本製品との接続、ハードディスクドライブとの接続、増設用HDDケースとの接続）
→ 正しく接続してください。

上記の処置を実施しても認識されない場合は、ハードディスクドライブの故障が考えられます。契約されている保守サービス会社、または購入された販売店へ連絡してください。

【?】 リビルドができない

- ☐ リビルドするハードディスクドライブの容量が少なくありませんか？
→ 故障したハードディスクドライブと同じか、もしくは大きい容量のハードディスクドライブを使用してください。
- ☐ 論理ドライブが、RAID0ではありませんか？
→ RAID0には冗長性がないため、リビルドはできません。FAILになったハードディスクドライブを交換して、再度コンフィグレーション情報を作成し、イニシャライズを行ってからバックアップデータを使用して復旧してください。

【?】 オートリビルドができない

- ☐ ハードディスクドライブを交換（ホットスワップ）するときに十分な時間をあけましたか？
→ オートリビルドを機能させるためには、ハードディスクドライブを取り出してから取り付けるまでの間に90秒以上の時間をあけてください。

【?】 ハードディスクドライブがFailになった

- 契約されている保守サービス会社または購入された販売店へ連絡してください。

[?] ハードディスクドライブが故障した

- 契約されている保守サービス会社、または購入された販売店へ連絡してください。

[?] 整合性チェックが実行できない

- ☐ バーチャルディスクが「Degraded」になっていませんか？
 - 故障しているハードディスクドライブを交換し、リビルドを実施してください。
- ☐ バーチャルディスクのRAIDレベルが、RAID0ではありませんか？
 - RAID0 は冗長性がないため整合性チェックができません。

[?] キャッシュモードをライトバックに設定できない

- Web BIOSのVirtual Disks—Properties画面のPolicies欄の『Write』は、RAIDコントローラのキャッシュモード(現在値)を表示します。そのため、増設バッテリーが接続されていない構成や、増設バッテリーが異常な場合、充電が十分ではない場合は、『WBack (Write Back)』に設定しても、すぐに『WThru (Write Through)』に表示が切り替わります。
キャッシュモードについての説明は、2 ハードウェア編のRAIDシステムのコンフィグレーションの章を参照してください。

[?] N8103-123またはN8103-124増設バッテリーが認識されない、またはPOSTにて下記のメッセージが表示される

The battery hardware is missing or malfunctioning, or the battery is unplugged, or the battery could be fully discharged. If you continue to boot the system, the battery-backed cache will not function. If battery is connected and has been allowed to charge for 30 minutes and this message continues to appear, then contact technical support for assistance.
Press 'D' to disable this warning (if your controller does not have a battery).

- ☐ バッテリーパックとバッテリーボードを接続するケーブル、バッテリーボードおよびバッテリーコネクタとバッテリー制御ケーブル、それぞれが正しく接続されていますか？
 - 正しく接続してください。
- ☐ バッテリーを接続した直後ではありませんか？
 - バッテリーの充電状態が低い場合に、バッテリーが認識できない場合があります。24時間経過しても認識しない場合は一度システムを再起動してください。

上記の処置を実施しても認識されない場合は、増設バッテリーの故障が考えられます。契約されている保守サービス会社、または購入された販売店へ連絡してください。

【?】 イベントID129について

以下のメッセージがWindowsのイベントログに登録される。

イベントソース: msas2k3
イベントID: 129
種類: 警告
説明: イベントID(129) (ソース:msas2k3内) に関する説明が見つかりませんでした。
(以降省略)

- 本メッセージがログに登録されても、OSでリトライに成功しているため問題はありません。そのままご使用ください。

【?】 イベントID317について

Universal RAID UtilityのRAIDログ、およびOSログ(Windowsのイベントログ、Linuxのsyslog)に以下のメッセージが登録される場合があります。

イベントソース: Raidsrv
イベントID: 317 (8000013D)
種類: 警告
説明: <RU0317>[CTRL: %1 PD:%2(%3) %4 %5] 物理デバイスで警告エラーが発生しました。 エラーコード: %6

- 運用中に上記メッセージが登録される場合がありますが、単発*で発生している場合はリトライが成功しているため問題ありません。本メッセージが繰り返し登録される場合には物理デバイスの故障などが考えられます。契約されている保守サービス会社、または購入された販売店へ連絡してください。

*「単発」とはここでは単位時間を示します。本メッセージは単位時間あたり20個ほど登録される場合があります。複数登録されている場合はメッセージが登録された時間を確認してください。

【?】 イベントID505について

N8103-123またはN8103-124増設バッテリーを搭載している場合、Universal RAID UtilityのRAIDログ、およびOSログ(Windowsのイベントログ、Linuxのsyslog)に以下のメッセージが登録される場合があります。

イベントソース: raidsrv
イベントID: 505
種類: 警告
説明: <RU0505> [CTRL: RAIDコントローラ番号] バッテリーの温度が高くなりました。

上記のイベントが登録された場合は、Universal RAID UtilityよりRAIDコントローラのキャッシュモード(現在値)を確認してください。

- キャッシュモード(現在値)が『Write Back』の場合は、問題はありませんのでそのままご使用ください。
- キャッシュモード(現在値)が『Write Through』の場合は、バッテリーのリフレッシュ動作により一時的にバッテリーの温度が上昇しています。本イベントにより、リフレッシュ動作は一時停止しますので温度が下がり、リフレッシュ動作を再開しますが、温度が下がるまでに時間が掛かる場合があります。リフレッシュ動作の完了後、キャッシュモード(現在値)が『Write Back』に変わります。もし、24時間経過しても『Write Back』に変わらない場合は、バッテリーの不良が考えられます。バッテリーを交換してください。

[?] イベントID508について

N8103-123またはN8103-124 増設バッテリー搭載時に、Universal RAID UtilityのRAIDログ、およびOSログ(Windowsのイベントログ、Linuxのsyslog)に以下のメッセージが登録される。

イベントソース: Raidsrv

イベントID: 508 (800001FC)

種類: 警告

説明: <RU0508> [CTRL: RAIDコントローラ番号] バッテリーの状態が不安定です。

- 本メッセージが登録された場合は、15分ほど経過してからRAIDコントローラのキャッシュモード(現在値)を確認してください。もしキャッシュモード(現在値)が『Write Back』であれば問題ありませんのでそのままご使用ください。キャッシュモード(現在値)が『Write Through』の場合は、バッテリーのリフレッシュ動作が必要となります。契約されている保守サービス会社、または購入された販売店へ連絡してください。なお、実施のためのツールならびに手順書は以下のURLに格納しています。

<http://support.express.nec.co.jp/istorage/>

なお、本ツールはあくまでもバッテリーのリフレッシュ動作のみにご使用ください。リフレッシュ動作開始から約9時間後を目処に、まだ『Write Back』に切り替わらない場合にはバッテリーの不良が考えられます。

- バッテリーを増設した直後ではありませんか？
 - バッテリー増設直後はバッテリーのリフレッシュ動作が完了するまで、本イベントが登録される場合があります。

[?] アクセスLEDが点滅する

- 使用していないのに、頻繁にアクセスLEDが点滅する。
 - パトリールリードが動作した場合、特に使用していない状態でもアクセスLEDが点滅します。なお、SATAのハードディスクドライブを使用している場合、LEDが点灯状態となる場合があります。

N8190-127/131 FibreChannelコントローラについて

【?】 N8190-127/131 FibreChannelをご使用の場合、デバイスマネージャでのFibreChannelコントローラ名がコントローラごとに異なって表示される場合がある

- Windows Server 2008でN8190-127/131をご使用の場合、デバイスマネージャでのFibreChannelコントローラのコントローラ名がコントローラごとに異なって表示される場合がありますが、動作上、問題はありません。また、EXPRESSBUILDERに格納されている、以下のファイルを実行し再起動することで正しいコントローラ名が表示されます。

[Windows Server 2008 64-bit(x64) Edition の場合]

<光ディスクのドライブレター >

:¥009¥win¥¥winnt¥ws2008x64¥elxstor¥friendlyname.exe

[Windows Server 2008 32-bit(x86) Edition の場合]

<光ディスクのドライブレター >

:¥009¥win¥¥winnt¥ws2008¥elxstor¥friendlyname.exe

障害情報の採取

万一障害が起きた場合、次の方法でさまざまな障害発生時の情報を採取することができます。



- 以降で説明する障害情報の採取については、保守サービス会社の保守員から情報採取の依頼があったときのみ採取してください。
- 障害発生後に再起動されたとき、仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがありますが、そのままシステムを起動してください。途中でリセットし、もう一度起動すると、障害情報が正しく採取できません。

イベントログの採取

装置に起きたさまざまな事象（イベント）のログを採取します。

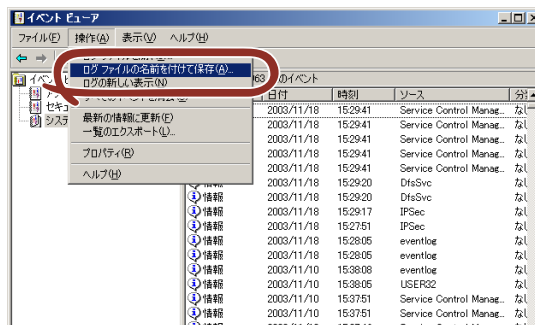


STOPエラーやシステムエラー、ストールが起きている場合はいったん再起動してから作業を始めます。

1. コントロールパネルから「管理ツール」－「イベントビューア」をクリックする。
2. 採取するログの種類を選択する。

[アプリケーション ログ] には起動していたアプリケーションに関連するイベントが記録されています。[セキュリティ ログ] にはセキュリティに関連するイベントが記録されています。[システム ログ] にはWindowsのシステム構成要素で発生したイベントが記録されています。

3. [操作] メニューの「ログファイルの名前を付けて保存」コマンドをクリックする。



4. [ファイル名] ボックスに保存するアーカイブログファイルの名前を入力する。
5. [ファイルの種類] リストボックスで保存するログファイルの形式を選択し、[OK] をクリックする。

詳細についてはWindowsのオンラインヘルプを参照してください。

構成情報の採取（Windows Server 2003の場合）

ハードウェア構成や内部設定情報などを採取します。
情報の採取には「診断プログラム」を使用します。



STOPエラーやシステムエラー、ストールが起きている場合はいったん再起動してから作業を始めます。

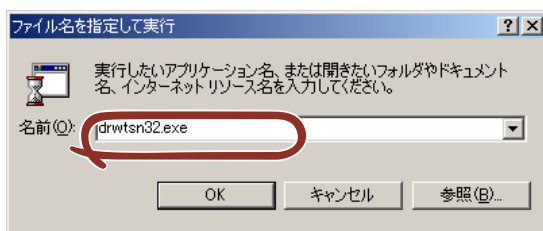
1. スタートメニューから [ヘルプとサポート] をクリックする。
2. ツールバーから [サポート] をクリックする。
3. [関連項目] から [システムの詳細情報] をクリックする。
4. [システムの詳細情報を表示する] をクリックする。
5. [ファイル] メニューの [エクスポート] コマンドをクリックする。
6. [ファイル名] ボックスに保存するファイルの名前を入力する。
7. [保存] をクリックする。

ユーザーモードプロセスダンプ（ワトソン博士の診断情報）の採取

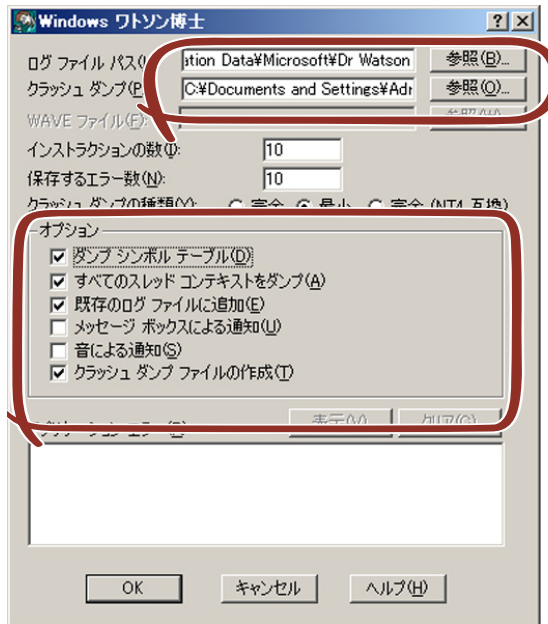
Windowsワトソン博士はアプリケーションエラー用のデバッガです。アプリケーションエラーを検出するとシステムを診断し、診断情報（ログ）を記録します。診断情報を採取できるよう次の手順に従って設定してください。

1. スタートメニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
2. [名前] ボックスに「drwtsn32.exe」と入力し、[OK] をクリックする。

[Windowsワトソン博士] ダイアログボックスが表示されます。



3. [ログファイルパス] ボックスに診断情報の保存先を指定する。
「DRWTSN32.LOG」というファイル名で保存されます。



ネットワークパスは指定できません。ローカルコンピュータ上のパスを指定してください。

4. [クラッシュダンプ] ボックスにクラッシュダンプファイルの保存先を指定する。



「クラッシュダンプファイル」はWindows Debuggerで読むことができるバイナリファイルです。

5. [オプション] ボックスにある次のチェックボックスをオンにする。

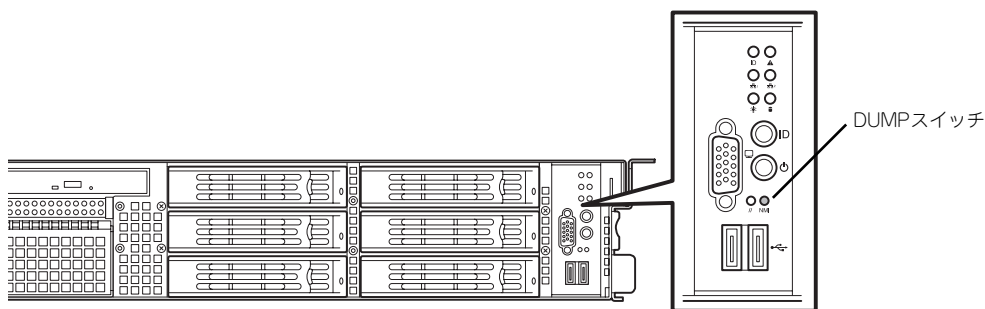
- ダンプシンボルテーブル
- すべてのスレッドコンテキストをダンプ
- 既存のログファイルに追加
- クラッシュダンプファイルの作成

それぞれの機能の説明についてはオンラインヘルプを参照してください。

6. [OK] をクリックする。

メモリダンプの採取

障害が起きたときのメモリの内容をダンプし、採取します。ダンプをDATに保存した場合は、ラベルに「NTBackup」で保存したか「ARCServe」で保存したかを記載しておいてください。診断情報の保存先は任意で設定できます。詳しくは「メモリダンプ（デバッグ情報）」の設定を参照してください。



- 保守サービス会社の保守員と相談した上で採取してください。正常に動作しているときに操作するとシステムの運用に支障をきたすおそれがあります。
- 障害の発生後に再起動したときに仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示される場合がありますが、そのまま起動してください。途中でリセットして起動し直すと、データを正しくダンプできない場合があります。

ソフトウェアの再インストール

ソフトウェアの再インストールは以下の手順で行います。

- 再インストールのための準備
- 「iStorage NS480バックアップDVD-ROM」を用いたインストール
- iStorage NSの起動
- 確認と設定

再インストールのための準備

再インストールする場合は、以下のものを準備する必要がありますので、あらかじめご用意願います。

- 装置添付の「iStorage NS480バックアップDVD-ROM」
- 装置添付のスタートアップガイド
- 装置添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROM
- ディスプレイ、キーボード、マウス
- フロッピーディスクドライブ（FDISKを使用する場合）
- 空のフロッピーディスク 1枚（FDISKを使用する場合）

<注意>

- 再インストールを行う際に、RAIDシステム構成を変更したり、FDISKを実行するとハードディスクドライブ上のデータは全て削除されます。また、誤った手順を実行すると、ハードディスクドライブ上のデータが全て削除される危険性がありますので、再インストール作業の前に、必ず必要なデータをバックアップ装置などにバックアップしてください。
- 再インストールを行う前に、後述の <出荷時の構成について> の記載を参照して、本装置のハードウェア構成を出荷時の構成に戻してください。（iStorage NSソフトウェア（OS）の領域がRAID1のモデルでは、ユーザ領域の内蔵ハードディスクドライブも取り外していただく場合があります。）
- 同じネットワーク内で複数のiStorage NSを再インストールする必要がある場合でも1台ずつ行ってください。
- 本装置のiStorage NSソフトウェアの再インストールは、本装置にディスプレイとキーボードを接続して行うか、またはコンソールリダイレクションを使用してリモートから操作を行うこともできます。
コンソールリダイレクションの設定は出荷時には無効になっています。本装置でコンソールリダイレクションをご使用の場合は、BIOS設定の変更が必要です。「BIOS設定の注意点」（52ページ）を参照して変更してください。また、コンソールリダイレクションの詳細は付録B 「ターミナルソフトウェアの使い方」（253ページ）を参照してください。

- 再インストール時には必ずLANケーブルを接続してください。使用できるポートに関しては、本装置に添付のスタートアップガイドを参照してください。
- 本装置には構成によりフロッピーディスクドライブが搭載されていない場合があります。FDISKユーティリティをご使用になる場合はフロッピーディスクドライブが必要になりますので別途ご用意ください。

<出荷時の構成について>

本装置には標準でRAIDコントローラ（PCI#0A）が1枚接続されています。ご使用のモデルによって以下のようなRAID構成になっています。

- iStorage NSソフトウェア（OS）の領域がRAID1（内蔵ディスクベイ0と1）ユーザ領域（内蔵ディスクベイ2～5）はRAID5（BTO（工場組み込み出荷））
- iStorage NSソフトウェア（OS）の領域がRAID5 HDD 6 台（内蔵ディスクベイ0～5）でRAID5構成（ユーザ領域を含む）

本装置ではディスクの状態によって以下の3通りの手順があります。

- 内蔵ハードディスク上のドライブをダイナミックディスクにアップグレードしている場合
- iStorage NSソフトウェアの領域がRAID1のモデルで、内蔵ディスクベイ0と1のハードディスク両方を交換した場合
- ・上記以外の場合

以降、それぞれについて説明します。

内蔵ハードディスク上のドライブをダイナミックディスクにアップグレードしている場合

内蔵ハードディスク上のドライブをダイナミックディスクにアップグレードしている場合は、再インストールすることができません。内蔵ハードディスク上のデータドライブのデータをバックアップし、以下の手順でダイナミックディスクにアップグレードした内蔵ハードディスク上のパーティションをすべて削除してください。パーティションの削除は、「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを使用して作成する「ROM-DOS起動ディスク」で本装置を起動し、FDISKユーティリティを使用して行います。ROM-DOS起動ディスクの作成方法については、本装置のユーザズガイド3章「EXPRESSBUILDER」を参照してください。

1. 本装置にフロッピーディスクドライブを接続し、ROM-DOS起動FDをセットして本装置の電源をONにする。
2. DOS画面が起動したら、A:¥>の後に FDISK と入力してEnterキーを押す。
3. 「Do you wish to enable large disk support? [Y]:」と表示されるので、<Y>キーを押す。
FDISKメニューが表示されます。
4. <A>キーを押して[A] Delete all partitions))を選択する。

5. 「Delete all partitions for which drive (1-n) [1]: 」と表示されたら、削除するディスク番号を入力する。
6. ディスクの情報と、「Are you sure you want to delete? [N] 」とメッセージが表示されたら、<Y>キーを押す。
パーティションが削除され、「Partition (s) deleted」と表示されます。
7. <Esc>キーを押してメニューに戻る。
8. さらにパーティションを削除する場合は、4～8を繰り返す。そうでない場合は、次へ進む。
9. <V>キーを押して[View partition (s)]を選択する。
「No partitions」と表示されていれば削除は正常に行われています。
10. ダイナミックディスクのパーティションを削除したら、<Esc>キーでメニューに戻り、<S>キーを押す。
11. 「Changes saved. Press any key to reboot…」と表示されたら、何かキーを押して再起動する。
12. 再起動後、A:¥>が表示されたら、本体の電源をOFFにし、フロッピーディスクを取り出す。
13. 「iStorageNS480 バックアップDVD-ROMを用いたインストール」の節に進む。

iStorage NSソフトウェアの領域がRAID1のモデルで、内蔵ディスクベイ0と1のハードディスク両方を交換した場合

iStorage NSソフトウェア領域のハードディスクドライブ（内蔵ディスクベイ0と1の両方）を交換した場合は、本装置のハードウェア構成を、交換したハードディスクドライブ2台のみを接続した状態にしてください。その後、「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のRAID構築ツールまたはWebBIOSユーティリティを使用してRAID1を構築し、「iStorage NS480バックアップDVD-ROMを用いたインストール」の節に進んでください。「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内の RAID 構築ツールの使用については、本装置のユーザーズガイド3章「EXPRESSBUILDER」を、WebBIOSユーティリティの使用については6章「RAIDシステムのコンフィグレーション」参照してください。

上記以外の場合

「iStorage NS480バックアップDVD-ROMを用いたインストール」の節に進んでください。

「iStorage NS480バックアップDVD-ROM」を用いたインストール

以下の手順に従い、BIOSのブートデバイスの順位を確認した後、iStorage NSソフトウェアを再インストールしてください。

1. 本装置の電源をONにし、光ディスクドライブに「iStorageNS480 バックアップDVD-ROM」をセットする。
2. POST中、「Press<F2> to enter SETUP」と表示されたら、<F2>キーを押してBIOSセットアップユーティリティを起動し、「Boot」メニューで光ディスクドライブが最上位になっていることを確認し、BIOSセットアップユーティリティを終了する。

DVD-ROMから自動起動して、iStorageNSソフトウェアが本装置にインストールされます。インストールを正常に終了すると断続的なパターンでピープ音が鳴ります。異常終了した時は連続的にピープ音が鳴ります。



再インストールが異常終了した場合は、本装置添付のDVD-ROMを使用しているかを確認してください。また、本章の再インストール手順を再確認してください。

3. 光ディスクドライブから「iStorage NS480バックアップDVD-ROM」を取り出す。
4. 本装置の電源をOFFにし、ディスプレイ、キーボード、マウスが接続されている場合は取り外す。
5. 「iStorage NSの起動」の節に進む。

iStorage NSの起動

本装置の電源をONにします。ピープ音のパターン（ピープ音を2回長く4回短く）を繰り返したら、正常に起動したことになります。初期設定ツールを使用してコンピュータ名、IPアドレスなどを設定してください。

初期設定ツールの操作に関しては第2章「初期設定」を参照してください。初期設定後、「確認と設定」に進んでください。

確認と設定

次に説明する確認と設定をしてください。

本装置へのログオン

管理PCよりリモートデスクトップを起動し、iStorage NSに接続します。
管理者権限を持ったユーザー名とパスワードを用いて本装置へリモートログオンします。
管理者のユーザー名とパスワードはあらかじめ設定されています。装置添付のスタートアップガイドを参照してください。

ハードウェアの接続

本装置をシャットダウン後、再インストール前に外したRAIDコントローラ、ハードディスク、増設筐体等を接続して電源をONにします。

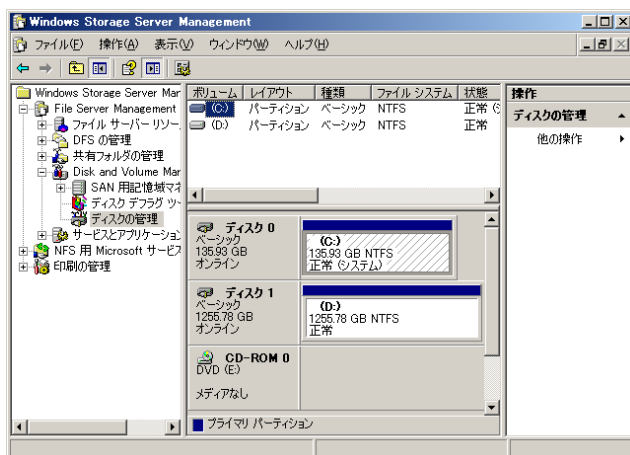
仮想メモリの確認

システムのプロパティから仮想メモリの値を変更します。以下の手順で行います。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[システム]をクリックする。
2. [詳細設定]タブをクリックし、[パフォーマンス]の[設定]をクリックする。
3. [詳細設定]タブをクリックし、[仮想メモリ]の[変更]をクリックする。
4. 「選択したドライブのページングファイルサイズ」で[初期サイズ]に搭載メモリの1.5倍、[最大サイズ]に搭載メモリの3倍の値を設定して[設定]をクリックする。
5. [OK]をクリックして、すべてのウィンドウを閉じる。
6. iStorage NSを再起動する。

ディスク管理での確認 -ドライブレターの変更-

管理PC よりリモートデスクトップを使用してiStorage NS に接続し、Windows Storage Server Management画面でディスクの管理を表示します。必要に応じてドライブレターを変更します。



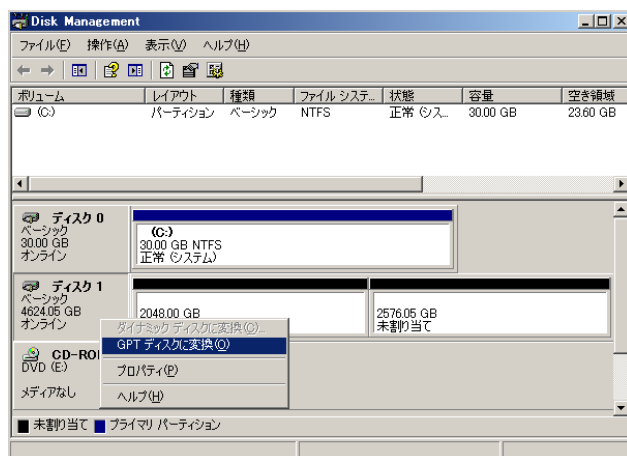
注) ドライブ容量は構成するディスクの容量で異なります。

ユーザ領域について

RAIDシステムを再構築したり、FDISKを実行後にOSを再インストールすると、ユーザ領域が未使用領域になります。パーティションを作成してご使用ください。

なお、ユーザ領域が2TB以上あると、ディスク内が分割されて表示されます。これはMBRディスクが2TBまでしかサポートしていないためです。2TB以上の領域を1つのディスクとして扱いたい場合は、以下の手順でディスクをGPTディスクに変換してください。

1. GPTディスクに変換するディスク（下図では「ディスク1」）を右クリックする。
2. [GPTディスクに変換]をクリックする。

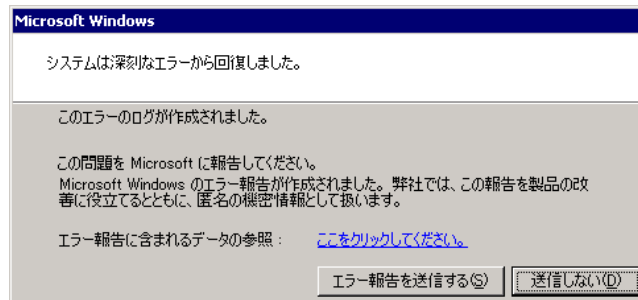


注) ドライブ容量は構成するディスクの容量で異なります。

以上で再インストール手順は終了です。

注意事項

再インストール後、以下のようなウィンドウが起動直後に数回表示されることがあります。その場合は、「送信しない」をクリックしてください。



また、このメッセージが表示された場合、イベントビューアのシステムに以下のエラーログが数回登録されます。このエラーが発生した時刻付近でイベントID6006「イベント ログ サービスが停止されました。」が登録されていれば、特に問題ありません。

ソース: System Error
イベントID: 1003
種類: エラー


この現象について、マイクロソフトのサポート技術情報に掲載されています。以下のWebページにて確認してください（2009年7月現在）。

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;828144&Product=winsvr2003>

移動と保管

本体を移動・保管するときは次の手順に従ってください。


警告



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- 自分で分解・修理・改造はしない
- リチウムバッテリーを取り外さない
- 電源プラグを差し込んだまま取り扱わない

注意



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- フロントマスクやエアダクトに手をかけて持ち上げない
- 中途半端に取り付けない
- 指を挟まない
- 高温注意



重要

- フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い上げの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- ハードディスクドライブに保存されている大切なデータはバックアップをとっておいてください。
- ハードディスクドライブを内蔵している場合はハードディスクドライブに衝撃を与えないように注意して本体を移動させてください。
- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。
装置を保管する場合は、保管環境条件（温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%）を守って保管してください（ただし、結露しないこと）。

1. 本体にディスクやテープメディアをセットしている場合は取り出す。
2. 本体の電源をOFF（POWER/SLEEPランプ消灯）にする。
3. 本体に接続している電源コードをコンセントから抜く。
4. 本体に接続しているケーブルをすべて取り外す。

5. 本体に傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないようしっかりと梱包する。



輸送後や保管後、装置を再び運用する場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。本装置および、内蔵型のオプション機器は、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤作動や故障の原因となります。装置の移動後や保管後、再び運用する場合は、使用環境に十分なじませてからお使いください。

ユーザーサポート

アフターサービスをお受けになる前に、保証およびサービスの内容について確認してください。

保証について

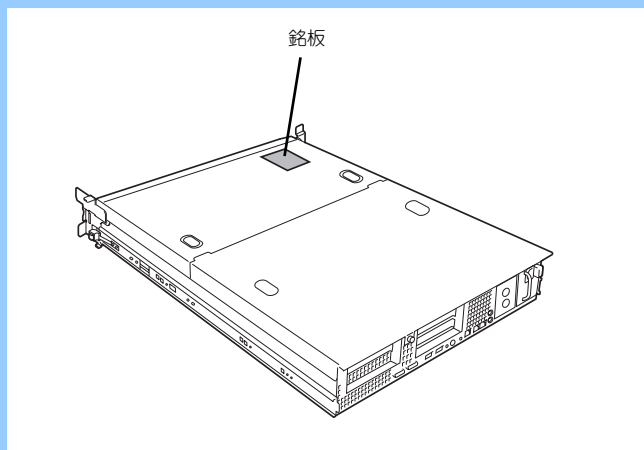
本装置には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳しくは『保証書』およびこの後の「保守サービスについて」をご覧ください。

保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社に連絡してください。



重要

- NEC製以外（サードパーティ）の製品、またはNECが認定していない装置やインターフェースケーブルを使用したために起きた装置の故障については、その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本体に、製品の形式、SERIAL No.（号機番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また銘板の号機番号と保証書の保証番号が一致しないと、保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがありますのでご確認ください。万一違う場合は、販売店にご連絡ください。
- 銘板は装置のサイドカバーに貼り付けてあります。



修理に出される前に

「故障かな?」と思ったら、以下の手順を行ってください。

1. 電源コードおよび他の装置と接続しているケーブルが正しく接続されていることを確認します。
2. 「障害時の対処」(205ページ)を参照してください。該当する症状があれば記載されている処理を行ってください。
3. 本装置を操作するために必要となるソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。
4. 市販のウィルス検出プログラムなどで装置をチェックしてみてください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社にご連絡ください。その際に装置のランプの表示やディスプレイ装置のアラーム表示もご確認ください。故障時のランプやディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。保守サービス会社の連絡先については、付録の「保守サービス会社網一覧」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は必ず保証書を添えてお申し込みください。



この装置は日本国内仕様のため、NECの海外拠点で修理することはできません。ご了承ください。

修理に出される時は

修理に出される時は次のものを用意してください。

- ☐ 保証書
- ☐ 障害情報または障害が起きたときの状況メモ
- ☐ 本体の記録

補修用部品について

本装置の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

保守サービスについて

保守サービスは弊社の保守サービス会社、および弊社が認定した保守サービス会社によってのみ実施されますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心の上、ご都合に合わせてご利用いただけます。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、弊社営業担当または代理店で承っておりますのでご利用ください。保守サービスは、お客様に合わせて2種類用意しております。

保守サービスメニュー

契約保守サービス	お客様の障害コールにより優先的に技術者を派遣し、修理にあたります。この保守方式は、装置に応じた一定料金で保守サービスを実施させていただくもので、お客様との間に維持保守契約を結ばせていただきます。さまざまな保守サービスを用意しています。詳しくはこの後の説明をご覧ください。
未契約修理	お客様の障害コールにより、技術者を派遣し、修理にあたります。保守または修理料金はその都度精算する方式で、作業の内容によって異なります。

弊社では、お客様に合わせてさまざまな契約保守サービスを用意しております。サービスの詳細については、「iStorage NSシリーズ サポート情報 (<http://support.express.nec.co.jp/istorage/>)」に記載の有償保守サービスをご覧ください。



- サービスを受けるためには事前の契約が必要です。
- サービス料金は契約する日数/時間帯により異なります。

情報サービスについて

本製品に関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。

※ 電話番号のかけまちがないよう、番号をよくお確かめの上、おかけください。

ファーストコンタクトセンター
TEL. 03-3455-5800 (代表)

受付時間／9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

本装置および他のiStorageシリーズ製品や関連製品に関する情報をインターネットでも提供しています。

【NECホームページ】 <http://www.nec.co.jp/>

製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。

<http://www.fielding.co.jp/>

NECフィールディング（株）ホームページ：メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。